

【様式①】令和4年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立長良中学校

校長名 古田 秀人

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立	・地域の教育資源を活用し、総合的な学習の時間や教科に効果的に位置付ける。 ・「いじめ対策」として、アンケート等を活用し、保護者や地域の方と連携して指導・支援を行っていく。	A	・総合的な学習の時間では、第2学年を中心に、岐阜提灯や長良川サイダーなどに関わる市内の企業と協力してまちおこしに貢献することができた。 ・保護者を対象とした、学校評価アンケートにおいて「教職員は、いじめを許さない指導を徹底し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めている。」の設問において「良好」「やや良好」を回答した保護者は91.4%であった。また、アンケートの回収当日、3日後、1週間後に学校いじめ防止等対策推進会議を行い、必要に応じてSCと連携を図りながら事後の指導の充実に努めた。	・クラウドファンディングや外部の企業などにつながって活動することは生徒によってとてもよい。また、生徒が自ら活動を考えているのもよい。 ・事後指導までしているところがよい。他校とも連携しながら、アンケートで100%を目指して進めていってほしい。	・総合的な学習の時間において、地域の人とつながれるように、本校での人材バンクを作成し、来年度以降活用していく。 ・小学校だけでなく、近隣の中学校とも連携しながら、生徒指導を行っていく。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施	・地域課題を解決する諸活動への子供の参画を目指した教育計画を作成する。 ・端末を効果的に活用し、自律的な学習者を育成していくようにする。	A	・今、自分たちに何ができるのか生徒に考えさせることを通して、市内の企業と協力してまちおこしに貢献したり、募金活動などを行って世界平和に向けて行動することができた。 ・日常的に積極的なICTの活用を行った。保護者を対象とした、学校評価アンケートにおいて「お子様は各教科や総合的な学習の時間などの学習を通して、岐阜市より貸与された一人一台端末の使い方を知り、インターネット等による情報収集にかかわる知識や技能を身に付けているように感じられる。」という設問において「良好」「やや良好」を回答した保護者は90.6%であった。	・ユニセフの募金など、SDGsを意識しながら当たり前のように活動しているのがよい。さらに多くの生徒が参加できるとよい。 ・よい取組である。ただし、授業中や家での端末の使い方がよくない生徒がいると聞いている。学校でも指導をしていってほしい。	・地域貢献活動に積極的に参加するよう、生徒会執行部や第3学年の生徒を中心に全校生徒に働きかけていく。 ・情報主任やICT教育推進教師を中心に、担任を通してデジタルシティズンシップ教育を推進していく。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進	・教師が小中一貫の考えを念頭に置き、各領域の指導の系統性を共通理解して指導にあたる。	B	・研究授業を通して子供の様子を交流したり、小中で教科の学び方の交流を図ったりするなど系統性を大切に指導に努めた。 ・生徒指導事案が発生した場合など、小中一貫担当教諭が中心となって一貫性のある指導を行った。 ・コロナウイルス感染症防止のため、小中一貫担当教諭が学校をまわいだ指導を十分に行うことができなかった。	・PTAも小学校と連携している。行事などの日程を保護者が参加しやすいように小学校と連携していってほしい。	・小中一貫担当教諭が中心となり互いの学校での授業参観を継続しつつ、合同教科部会を開催する。
教育環境と学校財務環境の整備	・見通しのある業務計画と校務のICT化を図り、働き方改革を推進する。 ・適切な点検、事務処理を行う。	A	・職員会提案資料をペーパーレス化することで、印刷及び配布時間を短縮することができた。また、部活動を含めて16:45までに子供が下校できるように日課を工夫することができた。 ・日課を工夫することで、成績や入試に関わる書類の点検時間を勤務時間内に確保し、正確に点検作業を行うことができる環境を整えた。	・残業時間を削減するのが急務である。いかに時間を生み出すかが大切で、先生方が余裕をもって子供と向き合えるようにしてほしい。	・働き方改革を推進するとともに、引き続き、適正に事務処理などを行いたい。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・体験的な学習を通して、正しい知識や判断力を身に付け、危機管理能力を高める。 ・多様な非常事態を想定して、小学校と連携し具体的な対応策を検討し、実施する。	A	・情報モラルにかかわるデジタルシティズンシップ教育の趣旨を教員が理解し、実際の事例を扱ったり、ロールプレイを行ったりしながら、生徒が正しい知識や判断力を身に付けられるようにすることができた。 ・学校運営協議会と連携を図り、地域の交通安全協会の協力を得た上で、小中合同全校引き渡し訓練を実施した。保護者を対象とした、学校評価アンケートにおいて「学校は、大雨・地震などの自然災害や校内の事故等に適切に対応している。」という設問において「良好」「やや良好」を回答した保護者は97.7%であった。	・子供が犯罪の被害者にも加害者にもならないようにするために、様々なことを教えてあげてほしい。 ・小中合同の引き渡し訓練を実際にやってみたということに価値がある。継続してほしい。	・授業等で様々な犯罪等に対する知識を身に付けることができるようにしていく。 ・引き続き合同引き渡し訓練を実施する。

HPアドレス:

<https://gifu-city.schoolcms.net/nagara-j/>